

テーマ:海の世界

西巣鴨第三保育園(豊島区)

テーマを設定する

生き物(深海生物等)が好きな子が多く、興味を持つと、とことん調べようとする姿が見られる。好きな生き物を自分なりにイメージし、表現していく中で子どもたちの"探求心"を伸ばしていく。自分たちで作ったものを、披露できる広々としたホールに舞台を作り、子どもたちの表現したい気持ちを自由に出せる環境を作る。
様々な素材のある棚を活用する。

活動 ワークショップ

海の世界に関連する絵本や、園外活動で訪れた水族館で見た生き物の姿から、想像力を膨らませて、身体表現をしたり、オリジナルの海を描いて遊ぶ活動を実施。

環境をデザインする

準備物:ハترون紙、クレヨン、養生シート、スズランテープ、ビニール傘、クリアファイルほか

探究活動を実践する

●活動内容

- 1.絵本を導入として、ペンギンになって身体を動かす。
- 2.海の生き物の動きを身体で表現。
- 3.紙芝居を読み、イメージを膨らませて、自分たちのうみを描く。さまざまな海の生き物を描いたり、色をぬったりする。
- 4.作った海を鑑賞。頭上ではためかせたり、筒状にしてトンネルを潜って遊ぶ。
- 5.両面テープとスズランテープのついたベルトを装着。紙の海をやぶって、その破片をベルトに貼付け、海の生き物に変身する。
- 6.自由に動き回ったり、海の破片を紙吹雪のように浴びたりして遊ぶ。

●子供たちの様子

- ・身体を動かす際には、それぞれがイメージする生き物になり切って楽しそうな表情が見られた。
- ・海を描く活動では、大きな紙の空間をいっぱい使って、いろいろなところに移動しながら、海の生き物などを描く姿が見受けられた。また、夢中になって大きな画面にひたすら色を塗る姿や、友だちと協力しながら大きな生き物の絵を描いたり、生き物の群れを描くなど、時間が経つにつれ、子どもたちの描き方に変化がみられるようになった。
- ・最後に描いた海の中から、自分が気に入った一片を切り取る際、描く際の興奮とは裏腹に、丁寧に慎重に切り取る姿が多く見受けられた。

活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① 製作活動(あったらいいな 水族館づくり) 保育士3名	R7.11.20 (木)	60分程度	18人
② ワークショップ 講師:たけうちみずゑ(俳優)他2名	R7.12.12 (金)	60分程度	16人
③ イケバスでの園外活動(水族館、イケサンパーク) 保育士5名	R7.12.19 (金)	4時間程度	21人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・外部講師の楽しそうな表情が子どもにも伝わり、よりモチベーション高く活動に参加できていたように感じられた。
- ・終始、場を包むように流れている音楽がとても効果的であると思った。読み聞かせでは絵本のイメージを広げたり、クレヨンで海を描いている際はゆったりとした音楽だったり、急かすようなテンポであったり、場の空気感を音楽がつくっていたように思う。
- ・そうした音楽の使い方や、子どもたちへの声の掛け方など、保育士にとって参考になる部分がたくさんあった。